

鼻欠く地蔵の面削る

登場人物

カンダ 過去にいろいろあったチンピラ。

ナナセ 嫁を亡くした。

ゲンジ 班長から後に地区長。優男。

サモン ゲンジを慕ってる。

仏 仏っぽくない。

スポット。一番下手にある照明が当たる位置にカンダが何かを心に決めた様子の表情で立っている。その表情からは希望が感じられる。

暗転。

スポット。一番上手にある照明が当たる位置にカンダが移動している。その表情は困惑しているようにも怒っているようにも見える。

暗転。

スポット。センターにある照明が当たる位置にカンダが膝を落とし、塞ぎこんでいる。その姿は苦しんでいるようにも救われて安堵しているようにも見える。

暗転。

本編

1 天国の日常

カンダ、ゲンジ、サモン板付き。

ゲンジ 今日も空が青いねえ。点々と浮かぶ雲はまるで海を進む船のようだ。

サモン そうですねえ。あ！見てください。共命鳥の群れですよ。

ゲンジ あの金色の翼は空という海に星を散りばめているようだ。みんなで遊んでいるのかな？

サモン そうですね。そろそろ西にある自分達の巣に戻る頃でしょうか。そうやって毎日僕達に始まりと終わりを運んでくれているんですね。

ゲンジ そして新しい命を芽吹かせるような心地よい風。一瞬にして私たちの心の淀みを吹き流してくれる。

サモン その風で沙羅双樹の葉がざわめいて、まるで歌を歌っているようです。

ゲンジ 常に極上の綿毛を身に纏ったような暖かい気温。下界に冬という季節があった事を忘れさせかねない。

サモン 蓮や曼珠沙華の花達も陽気な空気に包まれて踊ってますよ。

ゲンジ 天国とは人の理想…つまりは欲望の全てを顕現させた場所。それを享受する私達も罪人なのかもしれないね。

カンダ (舌打ち)

サモン 罪人でありながら僕達は天国にいる…さすがゲンジさん。言葉に深みがある。

ゲンジ だからこそ私達は現状を当たり前の物とせず、常に感謝しなければならんだ。

サモン その通りです。

ゲンジ カンダさんもそうは思いませんか？

カンダ あ？

ゲンジ 感謝の気持ちを忘れてはいけないと思いませんか？

カンダ 知らねえよ。

サモン またそんな事言つて…大切な事でしょう？

カンダ ああ思う思う。

サモン もっと素直になればいいのに。

カンダ 恥ずかしがり屋なんだよ。

サモン カンダさんもこっちに来て、一緒に天国の景色を楽しみましょう。

カンダ 俺は。パス。

サモン そんな事言わずに、さあ！

カンダ 2人で勝手にやっつろよ。

サモン 1人でいてもつまらないでしょ。ほらっ！

カンダ いいって言うてんだろ。しつけえな。

ゲンジ 悩みがあるなら、言うてくださると力になりますよ。

カンダ 別に。

サモン ここに来てからもうだいたいぶ立つのに、ずっとそんな調子だと疲れませんか？

カンダ 心配しなくても、これが俺の普通なんだよ。

サモン 普通なもんですか。人間とは常に穏やかな顔をしていなといけないます。

カンダ 何で？

サモン 何でって、人はいつも笑顔でいてこそ幸せを感じられるからですよ。

カンダ じゃなくて、何でお前に俺の生き方を決められないといけねえんだよ。

サモン もう死んでるじゃないですか。

カンダ つまんねえよ。

サモン え？いや…その…。

ゲンジ サモン君。人の幸せを他人が勝手に決める物ではないよ。幸せというのは人それぞれに形があるのだから。

サモン すみません。

カンダ 俺の事はもう放つとけよ。

ゲンジ いやいや、私は第6地区C班の班長として、カンダさんの気持ちを理解できても、放っておく事はできません。行動を共にする以上、私達は楽しみや悲しみを共有し、助け合わないといけないのですから。

サモン ゲンジさんの言う通りです。何か不満があるなら僕達に相談してください。

カンダ 何もねえよ。

サモン 遠慮せずに！ね？

カンダ 俺がいつ遠慮してると言っただけ？

サモン 言葉にはしてなくても、顔に書いてあります。

カンダ じゃあ1つ言わせて貰うと、毎日毎日、天国がありがてえって飽きもせず念仏みてえに唱えてっけど、はつきり言うて耳障りなんだよ。そういうのはいちいち口に出すもんじゃねえだろ。ペラッペラで気持ちワリイんだよ。

サモン 何て事を！

ゲンジ まあまあ…(カンダに)そうですか。感謝の心というのは唯一、言葉に出さないと意味がない物だと思っていました

が、なるほど。カンダさんの言う事にも一理あります。今後は私達の心の中だけで思う事にしましょう。

M2 鳥の鳴き声(SEE)

サモン (ゲンジの肩をたたいて)ゲンジさん、共命鳥が西へ移動し始めました。

ゲンジ 本当だ。

サモン カンダさん、いつまでそうしているつもりですか。今日は訪問日ですよ。

カンダ だから？

サモン もうすぐ仏様がいらっしやるんです。

カンダ だから？

サモン 失礼でしょ！早く立ちなさい！

カンダ ……。

サモン 早く！

仏、入ってくる。

仏 おつす、おつす！皆の衆！元気にしてたかね？

ゲンジ ええ、おかげ様で。

仏 そりゃあ結構！

サモン わざわざ足を運んで頂き、ありがとうございます。

仏 まあ仕事だからね。そんなにかしこまらなくてよいぞ。

サモン はい！

仏 返事が固いよ、アモン君。

サモン サモンです。

仏 そうか。

ゲンジ 仏様もお元気そうでなによりです。

仏 久しぶりにすつこい寝たからね。最高の気分です！

ゲンジ それは良かったですね。

仏 僕ちん超元気！元氣過ぎて筋肉モリモリ！

サモン 今日はどのようなお話を聞かせてくださるのでしょうか？

仏 まじめか。

サモン え？

仏 今、私が訳分かんない事言つてたでしょ？ツッコむなり何なりしなさいよ。

サモン はあ。

仏 それと早い。何でいきなり聞いちやうかな…確かにね、あるよ？ありがたあい言葉。でもさ、もう少しあるでしょ。「最近何かありましたか？」とか「僕はこんな事がありました」とか。何かを伝えるにもさ、流れつてものがあ
る訳じゃない。ねえ？カモン君。

サモン サモンです。

仏 ある種コミュニケーションの場でもあるんだからさ、事務的に事を進めすぎるのもどうかと思う訳さ。

ゲンジ おつしやる通りでございます。

サモン すいませんでした。

仏 前も言っただけだね、仏つつても私は菩薩だから。役職的には中間管理職みたいなもんよ。だからどこの工場だと思つて気軽に話しておくれよ。

サモン いやっ、さすがにそれは…。

仏 いいよ別に。第4地区の仏なんてさあ、みんなから「ほとちゃん」つて呼ばれてんだぜ？

ゲンジ 第4地区の方々はフランクな方が多いようですね。

仏 そうなんだよ。仲良さげだろう？とうの昔に煩惱から開放された私が思わず嫉妬してしまったよ。

サモン でも仏様をあだ名で呼ぶなんて…。

仏 まあいきなりは難しいだろうからさ、せめて楽しくやろうぜ。なあ？

ゲンジ 分かりました。

仏 それ！フウーウウー！

ゲ・サ フウーウウー！

仏、カンダを見る。

仏 カンダ君。一回私の事を「ほっちゃん」と呼んでみなさい。

カンダ ……。

サモン 仏様に対して無視はないでしょう。

カンダ ……。

仏 呼んでくれたら君の事は「ヌメヌメ小僧」と呼んであげよう。

カンダ うれしくねえよ。

仏 つたく、あいも変わらず辛気くせえなあおい。ええ？

カンダ 俺の勝手だろ。

仏 社会性ゼロか。少しくらい空気読めや。

カンダ 読んでるから大人しくしてんだろうが。

仏 読んでたら会話に参加しようとするわ。

カンダ 俺はこの日和った空気が嫌いなんだよ。

仏 あのなら、会う度にそんな態度みせられる身にもなってみ？こつちまで気が滅入るっつーの。

カンダ そうか、すまん。

仏 まあ謝るなら許してあげない事も…って馬鹿野郎！心がこもってないんだよ！

カンダ こめたよ。

仏 え？マジで？

カンダ うん。

仏 信じられるか！ブヴァーカァッ！今で人それぞれなんて言葉が適用されると思うなよ。

カンダ うるせえな。

仏 私はまだ、たまにだからいいけど、この2人はずっとだろ？どう思うよ？君らは。

サモン 悲しいです。

仏 だよな？悲しいよな？キャノン君。

サモン サモンです。

仏 こちらはずっと我慢してらっしゃるのに、お前はそれ体たらくですか？

カンダ 俺がウザいつーんなら、俺がどこかに行けばいいんだろ？

仏 え？開き直るの？少しは改善しようとか思わないの？

カンダ 思わない。

仏 こわっ！お前こわっ！

ゲンジ 仏様。きつとカンダさんも何の理由もなくこのような態度とっている訳ではないと思うのです。彼の中では何か思

う所があるのでしょうか。その原因を探る事が我々の務めなのではないでしょうか？

仏 ゲンジ君は私より仏っぽいな。聞いたか？カンダ。こんな風にお前の事を思ってくれてる奴もいるんだよ。

カンダ ガキをあやしてるみたいなのがしてイラつく。

仏 もう殴っていいよな？こいつ。

ゲンジ 暴力はいけません。仏様。

サモン カンダさん！謝りなさい！

カンダ 正直な感想を言っただけだろ。

仏 お前さ、仏の顔もスリータイムスって言葉知ってつか？

カンダ いや、だからよ。俺が気に入くわねえんだつたら地獄にでも何でもつれてけよ。

仏 それができるんだつたらそつgbがふ@しんvkがsわ!!

カンダ 何て？

仏 それができるんだつたら速攻つれてつてやるわ!

カンダ できない理由でもあんのか？

仏 ああそうだよ。

カンダ どんな？

仏 あん!?

カンダ 聞いてんだろうが。

仏 地獄にいる奴が天国に行けないのと同じで、天国にいる奴も地獄には行けねえんだよ!

カンダ 答えになつてねえよ。

仏 面倒臭えな…下界にある法律と一緒だよ、それがここでのルールなの。

カンダ ルールができるにも理由があるだろう。

仏 ややこしい事が起きんだよ。

カンダ ややこしい事って？

仏 やけに食いつくな。知ってどうすんだよ？

カンダ 別に…もうどうでもいいわ。

仏 どないやねん！つーか人に物を聞く時くらいは態度を改めなさいよ。

カンダ もういいって言うてんだろ、クソ仏。

仏、カンダに掴み掛かろうとする。それを止めるゲンジとサモン。

サモン いけません！仏様！

仏 減らず口叩けねえようにお前の喉仏を潰してやるよ！

サモン 仏様が仏を潰すなどと言ってはいけません！

仏 仏を倒せるのはな、仏しかないんだよ！

サモン 主旨が変わっています！落ち着いてください！

仏 ビビッてんのかー？おい！こっち来いよ！コラッ！

ゲンジ また上の人に叱られますよ。

仏 釈迦如来様は関係ないでしょうよ……これは私とこいつの問題なんだから。

ゲンジ そうだとしても、きつと仏様としての自覚を問われると私は思います。

仏 ……。

サモン こんな事はあまり言いたくありませんが、何でこんな人が天国に来る事ができたのですか？

仏 本当だったらこんなどうしようもない奴、地獄行きだよ？生きてた時もうくな事してねえし。

サモン だったらなぜ？

仏 死ぬ直前に男の子の命を救ったんだよね。

ゲンジ 男の子ですか。

仏 そう。車に轢かれそうになった男の子を助けて、自分が変わりにドーン！で、なんつうの？自己犠牲ってやつ？それが下界では最も尊い行いとされてるんよ。だから繰り上がりでこの天国に来たって訳。

ゲンジ そうだったのですか。

カンダ 余計な事言っくんじゃねえよ。

仏 仏の勝手ですう。

カンダ いやちげえだろ。

サモン 謙遜しなくてもいいですよ、カンダさん。凄くじゃないですか！

カンダ 凄くねえよ。何も覚えてねえし。

サモン 誰かの為に自分を犠牲にするなんてそう簡単にできる事ではありません。何だ、やっぱりカンダさんは良い人だったんですね。

カンダ、サモンの胸ぐらを掴む。

カンダ 俺の事を「良い人」なんて言うんじゃない。

サモン あっ……え？

カンダ 2度も言わせんな。分かったら返事しろ。

サモン 僕はただ……。

カンダ 返事っ！！

サモン ……。

ゲンジ サモン君。

サモン 分かりました。

カンダ、サモンから手を離す。

仏 大きな声出しちゃってみっともない。

カンダ お前もさつき出してたろ。

仏 ぐうう…っ！

ゲンジ サモン君、自分の中では良かれと思って言った事でも相手を傷つける事があるんだ。カンダさんに謝りなさい。

サモン すいませんでした。

カンダ ……。

仏 もういいや。とりあえず連絡事項だけ伝えて帰るね。

ゲンジ 分かりました。

仏 今年も地区恒例の餅つき大会の時期が迫ってきたから、大会でやる出し物を班ごとで決めます。どんな物をした
いか、各自で考えておくように。

ゲンジ はい。

仏 後、全地区で行う定例会なんだけど、第6地区の住民代表はゲンジ君にお願いしようと思ってる。

ゲンジ ヤクシジさんではないのですか？

仏 急に下界に転生する事が決まっています。

ゲンジ そうですか。

仏 だから次の地区長はゲンジ君にやっつて貰おうと思つて。

ゲンジ ありがとうございます。とても光栄です。

仏 定例会の議題とか詳しい事については決まったら伝えるから。

ゲンジ 了解しました。

仏 連絡は以上。

ゲンジ 今回はこのような事態になつてしまつて申し訳ありません。

仏 別にゲンジ君のせいではないから気にしないで。デーモン君もそんな気を落とさずに。

サモン サモンです。

仏 うむ。じゃあまあそういう事で。お疲れさん。

仏はける。

ゲンジ このままの関係が続くのはよくないですね。サモン君は謝りましたがカンダさんはどうお思いですか？

カンダ ……。

ゲンジ サモン君。向こうの沙羅双樹で少し休もうか。

サモン はい。

ゲンジ カンダさんも気が向いたらでいいので、いらしてください。では。

ゲンジとサモンはける。

M3 暗転。

2 新たな住人

カンダ、ゲンジ、サモン板付き。

ゲンジ (深呼吸)

サモン
(深呼吸)

何度も繰り返す2人。

カンダ ああ！うつとおしいっ！

ゲンジ カンダさんの言われた通りにしているのですが…。

カンダ 大の大人がスウハアスウハア…気持ちワリイんだよ。

サモン あなたは勝手な人ですね！じゃあどうすればいいんですか！

カンダ 何もするな。

サモン それは横暴というものでしょ！

カンダ 迷惑だつてんだよ！

サモン めっ…今まで黙っていましたけどね、あなたのせいでC班が周りからどう…。

ゲンジ 喧嘩はいけないよ。カンダさんが気分を害するというなら仕方ないじゃないか。

サモン しかしですね、この言い分を飲んでしまえば、それはあの人の言いなりになるという事じゃありませんか！

ゲンジ 他人は自分を写す鏡なんだ。サモン君が怒ればカンダさんも同調して怒る。サモン君が笑顔でいればカンダさん

も笑顔で接してくれる。人とはそういうものなのです。

サモン 先に喧嘩腰だったのは向こうですよ。

ゲンジ だからこそ自分が他人の鏡だと自覚している人間は、笑顔でいえないといけないんだよ。そうすれば、おのずとカンダさんの角も取れるだろう。

サモン そうだといいいのですが…。

仏入ってくる。

仏 てへっ、来ちゃった。

ゲンジ 仏様。

サモン 今日は訪問日でないはずでは？

仏 用がなきゃ来ちゃいけないの？

サモン 失礼しました！決してそういう意味では…。

仏 ウソよねえーん！冗談だよ、冗談。ちよつと報告しないといけない事があってね。

仏、カンダを見る。

仏　おうおうカンダさあん、毎度ながら陰気な空気作りに精が出ますなあ！もうアレだな、陰気工場だな。納期は間に合いそうですか？

カンダ　うるせえな。

仏　あつ、メンゴメンゴ！今はお前にかまってる時間ねえんだわ。

カンダ　お前から絡んできたんだろ。

仏　むうし！むうし！お疲れ様でしたあ！

カンダ　マジでムカつくな、お前。

ゲンジ　カンダさん。

カンダ　（舌打ち）

ゲンジ　今日はどのようなご用件で？

サモン　まだ早いですよゲンジさん！コミュニケーションの場でもあるんですから、もっと世間話を挟んだ後でないよ。

仏　今日はですね…。

サモン　え？

仏 このC班に新しい仲間が増えます！

ゲンジ それは素晴らしい事ですね。

仏 そうだろう？人数が多い方がいろいろ楽しいもんね。

サモン 何時いらっしやるんですか？

仏 (袖を指して)あそこにいるよ。

サモン もう？

仏 ほら、こっちきんしゃい…おーい、聞こえますかあ？

ナナセ (袖から)え？あつ、すみません。

ナナセ入ってくる。

仏 どうしたの？ぼーっとして。

ナナセ いえ、別に…。

仏 あつそ。じゃあ自己紹介をしてもらおうかな。

ナナセ どうもナナセです。よろしくお願いします。

仏　それだけ？

ナナセ　ああ、えつと…さそり座のA型です。趣味はジヨギングです。

仏　どれくらい走るの？

ナナセ　往復で…8キロくらいです。

仏　毎日？

ナナセ　はい。

仏　へえー凄いね。

ナナセ　いえ。

仏　ここでも続けるの？

ナナセ　分かりません。

仏　…何かちよつと暗いな。

ナナセ　すいません。

仏　別に怒つてる訳じゃないよ。ただ、もう少しはうちやけてもいいかなって。

ナナセ　そうですか。

仏　まあ私の好みだから気にしないで。じゃあ、次。

サモン サモンです。乙女座のA型です。趣味は蓮の花を愛でる事です。ようこそ天国へ。

ゲンジ 第6地区C班の班長ゲンジです。しし座のO型です。趣味は天国の風景を眺める事です。分からない事があれば何でも聞いてください。

仏 第6地区担当の仏です！星座と血液型は解脱する時に捨てました！趣味は半身浴です！よろしこ！

カンダ黙っている。

仏 ね？こうなると思ったよね？

サモン ええ、まあ。

仏 あいつはね、「ヌメヌメ小僧」っていうんだ。

カンダ ちげえよ！

仏 じゃあちゃんと自己紹介しろ。

カンダ カンダ。

仏 みんなの自己紹介の仕方、聞いてた？

ゲンジ 彼の名前はカンダさんです。少し気難しい方ですが、仲良くしてあげてください。

ナナセ 分かりました。

サモン いやあビックリしたでしょう？天国が本当にあつたなんて。

ナナセ はい。

サモン 僕も最初はそうでした。ここは本当にいい所ですよ。

ナナセ そうみたいですわね。

サモン どうかしましたか？

ナナセ いや、その…ここには男性しかいないんですか？

サモン はい？

ゲンジ そうですよ。女性の居住区は第7から13地区です。

ナナセ その地区に男性は入れないのでしょうか？

ゲンジ それはまあ別に…。

仏 何何いー？ちよつとおくお盛んですなあ！

ナナセ え？

仏 まあね、天国に来られるぐらいの女性達ですから、そりゃあもう素晴らしいですよ。

ナナセ そういう意味ではないんですが…。

仏 ぜんぜん行けるから心配しないで！特に壁とかある訳じゃないし。ただ共命鳥が…さっき説明した金色の鳥ね。
ナナセ はい。

仏 その鳥が西に向かつて飛んでくる頃には自分の居住区、今いるこの場所に戻らないといけないルールがあんの。それさえ守ってくれば行ってもOKだから。

ナナセ そうですか。

仏 早速、明日から行っちゃうの？

ナナセ まあ。

仏 ユーア〜ハングリイ〜。

サモン 人は見た目によらないなあ。

仏 天国にはこういう楽しみ方もあるのだよ。でも度が過ぎるとお仕置き部屋行きだから、みんな気をつけて。
サモン はい。

仏 まあこんな感じだね、中々アグレッシブな野郎がC班に加わります！みんな仲良くするように。

ゲ・サ はい。

仏 じゃあ解散！

ナナセ 失礼します。

ナナセはける。

仏 明日からじゃなかったの？

M4 鳥の鳴き声(SE)。仏だけはける。

サモン ナナセさん、遅いですね。共命鳥が飛んでからも随分立つのに。

ゲンジ そうだねえ。

サモン そろそろゲンジさんからも厳しく注意するべきなんじゃないですか？

ゲンジ うーん。

サモン 何を考える事があるんですか。これがまだ1度や2度だったらまだしも、ここに来てからほぼ毎日ですよ？しかも自分の欲求を満たす事を理由にルールを破るなんて、どう考えてもおかしいですよ！

ゲンジ まあねえ。

サモン 僕が注意しても謝るだけで何も聞きやしない。

ゲンジ でもそれは私が言っても同じ事なんじゃないかな？

サモン 同じ班の人間が言うのと、班長が言うのとでは受け取り方が変わります。

ゲンジ 人はね、肩書きと会話している訳ではないんだよ。相手の心と会話しているんだ。彼はまだ私達に心を開いていない。そんな状態では誰の言葉だって届きはしないよ。

サモン じゃあどうするんですか？

ゲンジ 私達がナナセ君に心を開いて、彼がそれに答えてくれるまでずっと待つ。

サモン そんな悠長な…最近、ウチの班は他の班によく思われていないみたいですよ。

ゲンジ だろうね。

サモン 分かっているなら、班長であるゲンジさんが周りに示しをつけないと！

ゲンジ 自分達の立場の為に相手を叱るのは違うだろう。

サモン それはそうですね…でもちゃんとルールを守っている僕達にまで迷惑が掛かっているんです。ただでさえウチは変な印象を持たれているのに。

ゲンジ サモン君。

サモン すいません。

ナナセ入ってくる。

サモン 遅いですよ！ナナセさん！

ナナセ あ…すいません。

サモン そうやって何度も謝っていますが、同じ事を繰り返しているのであれば意味ないでしょう！

ナナセ すいません。

サモン 本当に悪いと思っているんですか？

ナナセ はい。

サモン であれば、ルールは守ってください。

ナナセ ……。

サモン なぜそこで黙るんですか？

ナナセ 気をつけます。

サモン 全く。

ゲンジ C班に属しているのであれば、ナナセ君の行動が班の人全員に影響を与える事は分かるよね？

ナナセ はい。

ゲンジ 班の人全員という事は、もちろん君自身の立場も悪くなる。私達はそれを心配しているんだよ。

ナナセ ……。

ゲンジ 私達は君の意志を尊重しているつもりだ。だから君も私達の気持ちを汲んでほしい。いいかな？

ナナセ 分かりました。

ゲンジ ありがとうございます。これからはお互いに気持ちよく暮らしていけるよう共に努力して行こう。

ナナセ はい。

ゲンジ よしっ、では私はこれから仏様からのお誘いで、麻雀をしに行くのだけど、一緒に行く人はいるかな？

サモン 行きます！

ゲンジ お2人は？

ナナセ 僕は止めときます。

カンダ ……。

ゲンジ そうか…残念だな。ではサモン君と2人で行くとしよう。

サモン はい。

ゲンジ 行って来るね。

ナナセ 行ってらっしゃい。

ゲンジ・サモンはける。

カンダ　なあ。

ナナセ　え？はい。

カンダ　何かあんのか？

ナナセ　はい？

カンダ　何かあんのかつて。

ナナセ　何かとは？

カンダ　様子が変だろ。

ナナセ　まあ。

カンダ　女漁りが上手くないのか？

ナナセ　別に女漁りをしてる訳じゃないです。

カンダ　じゃあ何だよ？

ナナセ　……。

カンダ まあどうでもいいけど。

沈黙。

カンダ お前、何でここに来たんだよ。

ナナセ 何でって、気がついたらここに。

カンダ ああ、どんな死に方してここに来たんだ？

ナナセ 車の運転中に事故を起こしたんです。前方不注意で電柱に激突。

カンダ 鈍臭え話しだな。アレか？女漁りが趣味だからエロい事でも考えてたか？

ナナセ 違いますよ。

カンダ お前みたいな案山子野郎に着いてく女つて、一体どんな奴なんだ？

ナナセ ……。

カンダ どうせ誰にでもすぐ股開くようなアバズレだろ？

ナナセ あなたには関係ないじゃないですかー！

カンダ あ？

2人睨み合う。

カンダ クソが。

ナナセ ……。

カンダ 少しふざけただけだろ。

ナナセ ……。

カンダ 誰か探してんのか？

ナナセ え？

カンダ 女漁りじゃねえなら、だいたい分かるだろ。

ナナセ そうです。

カンダ お前の女か？

ナナセ 妻です。

カンダ そうか…見つかりそうか？

ナナセ いえ。

カンダ 仏に聞いてみるよ。ムカつく奴だけど一応仏だからよ。

ナナセ ええ。

Ms 暗転。

3 脱国への決意

ナナセ以外板付き。

仏 本当にいいの？自分達でしかかった物とかあったんじゃない？

ゲンジ せつかくのB班からの申し出ですからね。

サモン 僕はやってみたいです。おもしろそうですし。

仏 そつ。じゃあ、餅つき大会の出し物はB班と合同で「フリースタイルラップ対決」に決定しましたあゝ。パチパチゝ。

サモン 早速明日から練習しましょう。

ゲンジ 即興で歌詞を作るんだから、練習といつてもなあ。

サモン 何事も馴れは必要ですよ。

仏 やる気満々だねえサモ…イオン君。

サモン 今あつてましたよね？

ナナセ入ってくる。

ナナセ 遅れてすみません。

サモン 訪問日にまで遅れてくるなんて、呆れて物も言えない。

仏 いないからさ、餅つき大会の出し物、勝手に決めちゃったよ？

ナナセ かまいません。

仏 できれば行事ごとはかまってほしいんだけどなあ。

ナナセ はい…すみません。

仏 アレでしょう？何か話によるとほぼ毎日に遅れて来るらしいじゃん。駄目だよおルールは守らなきゃあ。なにも何の意味もなくルールが存在してる訳じゃないからね？ちゃんと理由があつて決まつてる事なんだから。

ナナセ はい。

仏　大勢の人間がいる以上、ある程度は管理しないと何事も上手くいかない訳よ。それは天国も同じなの。本当に目に余る様であれば何かしら罰を与えないといけなくなるからね。嫌でしょ？罰。

ナナセ　はい。

仏　私も罰を与えるの嫌だ。ルールさえ守ってくれば、ある程度は何してもいいからさ。分かった？

ナナセ　分かりました。

仏　ならいっちょ頼みますわ。何でか知らんけどカンダですら守ってたから。

カンダ　俺は関係ねえだろ。

仏　じゃあ次の話題ね。定例会の件、正式にゲンジ君に出席してもらおう事にしたよ。今日からゲンジ君を第6地区の地区長に任命します！

ゲンジ　ありがとうございます。

サモン　凄いですねーゲンジさん！

ゲンジ　いや、名誉な事ではあるけど、だからといって私という人間が変わる訳じゃない。私はいつも通り私だよ。

サモン　でも今までのゲンジさんの人柄が認められたからこそその大役ですよ。やっぱり凄いです。

仏　定例会内容の伝聞、餅つき大会の実行委員長等いろいろ大変だけど、やりがいはあると思うから頑張つてね。

ゲンジ　はい。

仏　　で、はいこれ。

仏、コンパスの様な物を渡す。

サモン　何ですか？

仏　　地区長の証みたいなものだよ。「ベイルリ」っていうの。

ゲンジ　確かヤクシジさんも持ってましたね。

仏　　そうそう。ベイルリにはね、特別な力が宿っているんだよ。オーラみたいなのを感じない？

サモン　何か神々しい物を感じます。

仏　　嘘だあ！オーラは仏にしか感じ取れないもん。

サモン　何で聞いたんですか？

仏　　それ、定例会の時に会場の通行証代わりとして必要だから。大事に扱うように。

ゲンジ　分かりました。

仏　　で、今回の議題が地区ごとの活動方針とイベント内容の企画報告、あと環境保持について。前回までの定例会の引き継ぎをヤクシジ君がしてくれるから、後で私の所まで来てくれるかな？

ゲンジ 了解です。

仏 でき、その後麻雀やる？ラングレン君も来るよね？

サモン もはや誰ですか？

仏 来ないの？

サモン 行きますけど…。

仏 この前ヤクシジ君の1人勝ちだったっしょ？あれまだ納得いかないんだよね。

サモン あれは仏様がガンガン危険牌切るから当たり前ですよ。それでヤクシジさんが調子付いちゃたんですから。

仏 私のせいにするの？私のタテチン、リャンペーコーをタンヤオのみでオジャンにした貴様が？

サモン だって、バレバレなんですもん。安手で上がるのも戦略ですから。

仏 私に麻雀を語るとは…釈迦に説法とはこの事だな！あつやべ、呼び捨てにしちゃった。

ナナセ あのとっ！

仏 何？

ナナセ 仏様に聞きたい事があるんですが…。

仏 だから何？

ナナセ ここに「キョウカ」という女性はいませんか？

仏 キョウカ？

ナナセ はい。

仏 あ、そういう事。その人を探してたのね？

ナナセ そうです。

仏 別の地区に関してはあまり把握していないからなあ。

ナナセ ここにいるとしたら、僕より1ヶ月程早く来ているはずなんです。

仏 ちょっと待ってて。1ヶ月前ね。

仏、スマートフォンっぽい物を取り出し、調べ始める。

サモン 天国にもあるんですね…それ。

仏 まあ便利だからね。(ナナセに)生年月日は？

ナナセ 1987年4月8日です。

仏 ああ、ここにはいないな。

ナナセ 何処にいるんですか？

仏 何か、ちよつと言ひ辛いんだけど…。

ナナセ 教えてください。

仏 本当に聞いちゃう？

ナナセ 聞きます。早く教えてください。

仏 えつと、まあ…地獄。

ナナセ ……。

ゲンジ ナナセさん？

仏 つていうか、そのキョウカつてのは一体誰なのさ？

ナナセ 僕の妻です。

仏 妻つて、君の奥さん？

ナナセ はい。

仏 奥さんつて事はつまり、君と結婚した女性つて事？

カンダ 当たり前だろ。

仏 マジで？

ナナセ そんな…地獄つて…。

仏　その、何だ…辛いかもしれないけど今は現実を受け止めて…。

ナナセ　なぜですか？

仏　え？

ナナセ　なぜキョウカが地獄にいるんですか？

仏　それはその…それ相応の理由があるんだよ。

ナナセ　彼女は地獄に行くような人間ではありません。

仏　そんな事言われても。

ナナセ　彼女はとても優しく、底抜けに明るくて、みんなに元気を与える事ができるような人間なんです。

仏　まあそうかもしれないけどさ。

ナナセ　絶対に何かの間違いです。もう1度調べなおしてください。

仏　いやここ1ヶ月の死人の中で、1987年4月8日生まれの「キョウカ」という女性は1人しかいないよ。

ナナセ　だからありえないって言ってるじゃないですか。

仏　君の気持ちも分かるけど、とりあえず落ち着きなさい。

ゲンジ　ナナセ君、感情的になつては話もできないよ。

ナナセ　写真とかないんですか？

仏 あるよ。

ナナセ 見せてください。

仏、スマホおっぼい物の画面を見せる。

ナナセ 嘘だろ…何で…。

仏 信じたくないだろうけど、仕方ない事なんだ。

ナナセ なぜキョウカが地獄に行かないといけなかったんですか？

仏 いや、その…。

ナナセ 説明してください。

仏 君にも心当たりがあるんじゃないの？奥さんの最後がどうだったか覚えてるだろう。

ナナセ ……。

仏 何か事情があったとしても、奥さんがした事は絶対に許されない事なんだよ。

ナナセ 会わせてもらう事は可能ですか？

仏 え？

ナナセ あいつに会って一言、お前のせいじゃないって言ってあげたいんです。

仏 無理だよ。

ナナセ 1度だけでいいんです。それもほんの少しの間だけでいいですから。

仏 そういう問題じゃないの。

ナナセ お願いします！

仏 無理なものは無理なんだって。

カンダ 地獄の奴が天国に行けないってのは何となく分かるけどよ、その逆が無理ってのはよく分かんねえな。

仏 いや、そもそも地獄に行く手段なんてないから。

カンダ 前にややこしい事が起きるって言ってたじゃねえか。

仏 はい？

カンダ 言ってたろ。

仏 そうだったけ？

カンダ とぼけんな。はっきり言ってたぞ。それって地獄に行ける事が前提の話じゃねえのか？

仏 いやあゝえええ？

カンダ 何だよ、仏が嘘つくのか？それでもお前仏か？

仏 仏つつつても…私は悟りを開ききれてない菩薩ですから…。

カンダ 関係ねえだろ。曲りなりにも人に道を説く立場だつーのに、自分の言葉に責任を持たねえんだな？

仏 ちよつと待ちなさいよ。

カンダ 筋は通してる奴だと思つてたのによ、がっかりだわ。

仏 待つて。

カンダ 二度と俺に偉そうな事いうんじゃねえぞ。

仏 分かつた！言うよ。まあ…天国と地獄は絶妙なバランスで均衡を保つてんの。そのバランスつていうのが天国と地獄にある魂の数なのね。

カンダ おう。

仏 それが天国の住人が地獄に行つたりしてバランスがくずれると、天国と地獄が同じ空間の中で1つになっちゃうんだよ。言うなればこの天国に血の池地獄や針の山とかが存在しちゃう訳。

カンダ 別にいいじゃねえか。

仏 天国の住人はおぞましい罰を受けている人間を横目に生活して、地獄の住人は罰に疲れたら雲の上で一休みつてか？ありえないだろ。それに2つの住人が一緒になればお互いの関係がややこしい事になるのは目に見えてるし、こつちだつて全てを管理できないよ。

カンダ 住み分けをきっちりすりゃいけんだろ。

仏 だからきっちり住み分けてたのがゴツチャになるんだらうタワケ！

サモン 僕は絶対に嫌ですよ。

ナナセ だったらすぐに戻ってくればいい。

仏 天国の住人が地獄に行く事は罪なんだよ。だから魂が穢れちゃって、そのまま地獄の住人になる。

カンダ 住人になるって、どうせ一緒になっちゃうんだろ？

仏 そうなる前に、すぐに天国の住人を補充するんです。

ナナセ 補充？

仏 そう。地獄の魂と数を合わせないといけないから、天国から1人地獄に行ったら、えうと……えうとちょっと待つて、1、2、さ……ん？

カンダ 2人だろ。

仏 えう。(ゲンジに)そつと)何で？

ゲンジ 天国と地獄にそれぞれ10個の魂があるとして、天国から1つ、魂が地獄に移動すると天国にある魂は9個、地獄には11個の魂がある事になりますよね？では11引く9は？

仏 3！

カンダ 2だろ！馬鹿かお前。

仏 馬鹿つて言うなあー！！

ゲンジ 仏様。

仏 まあその…天国に2つの魂を補充しなきゃいけない。それを何処から補充すると思ってるの？

ナナセ 何処ですか？

仏 下界だよ。

ナナセ え？

仏 下界の誰かに死んでもらう事になる。

カンダ 天国に来れんだから別にいいんじゃないの？

仏 よくそんな無責任な事が言えるな。もしそいつがまだ生きたいと願っていたら？しかも天国に来るって事は、今ままで真つ当に生きてきた人間が割りを食う事になるんだ。それに関してはどう思うよ？

ナナセ それは…。

仏 何か行動に移した時点でそれなりの罰を与えるからそのつもりで。

ナナセ ……。

仏 こればかりは私にもどうにもできないよ。

カンダ 仏のくせに何もできねえんだな。

仏 お前マジでブツ飛ばしちゃうぞー！ゴラアア！

ゲンジとサモン、仏を止める。その内ナナセの様子に気づく。

ゲンジ 仏様、ここはナナセ君を1人にしてあげた方がいいのでは？

仏 そうだな。

仏・ゲンジ・サモンはける。カンダもはけようとするが元の場所に戻る。サモンが戻ってくる。その後が続いて仏とゲンジも戻ってくる。

サモン 何してるんですか？カンダさん。今はナナセさんを…。

カンダ 何で俺が何処かに行かなきゃいけないんだよ、面倒臭え。

サモン あんたって人はどれだけ無神経なんですか！

ゲンジ サモン君。そんな大声を出さずに。

サモン だって、この状況で普通ありえないでしょう？

仏 放つとけばいいんじゃない？

サモン でも。

仏 こいつは居ても居なくても同じようなもんだし大丈夫だよ。ほら早く行った行った。

3人はける。

カンダ おい。

ナナセ 何ですか？

カンダ 嫁さんの話聞かせろ。

ナナセ は？

カンダ 生きてる時、嫁さんに何があつたんだよ？

ナナセ 何であなたに言わなきゃいけないんですか？

カンダ いいから聞かせろ。

ナナセ 別にあなたに話した所で何も変わらないでしょ。

カンダ 変わらないとかどうでもいいんだよ。

ナナセ どうでもいいなら放つといってください。

カンダ ガタガタうるせえな！お前今つれえんだろ！！

ナナセ ……。

カンダ 別に相談しろって言うてる訳じゃねえよ。そういうのは黙って堪えてんのが一番つれえだろ？

ナナセ ……。

カンダ 少しでも誰かに話しゃあ、楽になるかもしれねえだろうが。

ナナセ はい。

カンダ 嫁さんに何があつたんだ？

ナナセ 妻は…自殺したんです。

カンダ は？

ナナセ 当時、キョウカは妊娠していました。それまで僕達は中々子供ができず、その原因は母体にあると医師から言われました。妻は長い間不妊治療を続けて、そしてようやく赤ちゃんを授かる事ができたんです。けど…。

カンダ どうしたんだよ？

ナナセ 流産しました。

カンダ ……。

ナナセ キョウカは生まれつき体が弱かったんです。それが、赤ちゃんが育つには良くなかったらしくて…。

カンダ それで？

ナナセ ショックを受けた彼女を支え続けました。いや…支えていたつもりでした。彼女を元氣付ける為にいろいろと行動しましたが、ただの1度も、お前は悪くないとは言えなかつたんです。もし彼女の体が丈夫だったらと考えてしまつて。

カンダ 考えちまう事くらいは仕方ねえだろ。

ナナセ いや、おそらく僕の些細な動向でそれが伝わってしまったのでしよう。キョウカが一番考えて、苦しんで、悩んでいた事のはずなのに…僕は全ての責任を彼女に押し付けていたんです。

カンダ お前何言つてんだ？

ナナセ 僕がキョウカを追い詰めたんです。

カンダ 何でそうなるんだよ。

ナナセ 僕が殺したも同然なのに、僕はここにいて彼女は地獄にいる。

カンダ いい加減にしろ。

ナナセ 僕が地獄に落ちるべきだつたんだ。

カンダ ……。

ナナセ 僕が救われたい訳じゃない。彼女の気持ちを楽にしてあげたい。たった一言だけでいいんだ。たった一言…。

カンダ じゃあ2人で地獄に行くか。

ナナセ え？

M6

カンダ 俺も一緒に地獄に行つてやるよ。それで嫁さんに会つていい。

ナナセ でもそうすると下界の誰かが2人も犠牲になるって…。

カンダ 他人なんて関係ねえよ。嫁さん楽にしてやりてえんだろ？本気でそう思うなら他の奴の事なんか考えるな。

ナナセ ……。

カンダ 俺はな、この天国つて所が大嫌いなんだよ。丁度良い機会だ、一緒に地獄に行こうぜ。

ナナセ 場所は…地獄にはどうやって行くんですか？

カンダ それはまだ分かんねえけど、これから2人でいろいろ調べて探すんだよ。

ナナセ はあ。

カンダ まあ何とかなるだろ。いざとなったら俺が仏をボコして聞きだしてやる。

ナナセ 地獄に行こうとするのと罰があるって仏様が言っていました。カンダさんにまで迷惑はかけられません。

カンダ そんなもん気にすんな。

ナナセ 本当にいいんですか？1度行ったら戻れなくなるんですよ？

カンダ だから気にすんなって。

ナナセ でももし想像以上に苦しい所だったら？

カンダ 行ってみねえと分かんねえよ。

ナナセ 怖い顔がもつと怖くなるかもしれないよ？

カンダ なる訳ねえだろ。

ナナセ もしかすると今以上に性格が歪んでしまうかもしれない。

カンダ 喧嘩売ってんのか？

ナナセ それが原因で地獄の人達にいじめられて…。

カンダ いちいち面倒臭え奴だな。どうすんだよ？行くのか？行かねえのか？

ナナセ …行きますっ！

カンダ 最初からそう言えっただよ。

暗転。

4 脱国へ

ゲンジ、サモン板付き。

ゲンジ (リップ) 皆が待ってた俺がゲンジ。とくに決まっていた俺の勝利。玄人相手に挑む素人。猿でも分かるぜ白と黒。悟りを開けず暗中模索。扉を開けられず喚いてもがく。無知からひり出すぞんざいなリリック。デイスつたつもりがある種のラブレター。ゲンジさんたら読まずに破いた。面倒なお前に引導を渡す。ヘブンススタンダード・イズ・ミー。解脱の先にある涅槃で待つチエケラ。

サモン (拍手)

ゲンジ 今のはいい線だったと思うんだけど。

サモン 最高ですよ。この調子だとB班には負けませんね。

ゲンジ ありがとう。できればカンダさんとナナセ君にも聞いてもらいたかったなあ。

サモン 今日も2人で何処かに行ってるんでしょうか？

ゲンジ たぶん。

サモン 全く、練習にも参加しないで…最近、カンダさんとナナセさんつてよく一緒にいますよね。

ゲンジ そうだね。カンダさんにも気を許せる相手ができて、ナナセ君も元氣を取り戻しつつある。良い事だ。

サモン でも何だか様子がおかしくありませんか？

ゲンジ おかしいとは？

サモン 僕達に気づくとよそよそしくなるというか、コソコソしてるみたいなの…。

ゲンジ 私にはそうは見えないけど。

サモン そうですか。

ゲンジ 練習も一段落ついたし、私は仏様の所に行ってくるよ。

サモン 何か用ですか？

ゲンジ 仏様に呼ばれたんだよ。定例会の件で話す事あるらしくて。

サモン ああ。

ゲンジ じゃあ行ってくるよ。

サモン 行ってらっしゃい。

ゲンジはける。

サモン
(リップ)ぶっ放しに来たぜ俺がサモン。頂点に刻まれた三文字。自己満だけのお前の武勇伝。寒いだけなのでも

う十分です…何か違うなあ…。

サモンはける。場転。カンダとナナセ入ってくる。2人はその場を探索している。

仏
(袖から)俺はシチューにはうるさいよ？作る時もかなりこだわるからね。

カンダ、ナナセはける。仏が資料に目を通しながら電話して入ってくる。

仏
シチューはあれだよ。ホワイトソースから作るんだよ。ちげえよ、ホワイトベースって、それガンダムだろ。

ゲンジ
(袖から)仏様、ゲンジです。

仏
ごめん。人来たからまたかけ直すわ、じゃあ。(電話切る)はいどぞ。

ゲンジ 失礼します

ゲンジ 入ってくる。

ゲンジ お疲れ様です。仏様。

仏 うむ。わざわざごめんね。

ゲンジ とんでもございません。本日は定例会の件で伝える事があるとお伺いしていたのですが。

仏 そうそう。ちょっと公にはできない話だからさ。

ゲンジ そうでしたか。

仏 まあその内容っていうのが、今回の定例会は地獄の役人も何人か参加する事になったんだわ。

ゲンジ はい。

仏 で、場所の話になるんだけどね、地区長は皆、天国の人間だから地獄に連れてく訳には行かないでしょ？だから天国で開かれる事は変わらないんだけど、場所が地獄門って所の前になった訳よ。

ゲンジ 地獄門なんて物があるんですか？

仏 うん。天国の風を地獄に流す為だね。

ゲンジ 流す為？

仏 地獄に必要な事なんだよ。まあその話はどうでもいいから置いて、地獄門への行き方だけど、普通に行っても絶対辿り着けないのよ、セキュリティの問題で。だからそのベイルリを使って貰うんだけど。

ゲンジ はい。

仏 実はそのベイルリはね、自分の行きたい所へ導いてくれる不思議な道具なんですよ。

ゲンジ へえーそうなんですか。

仏 地獄門に行く場合は少し制約があるんだけどね。

ゲンジ どんな制約ですか？

仏 先に使い方から説明するね。まずベイルリに向かって「地獄門」って言います。するとベイルリが地獄門の方向を指し示します。

ゲンジ はい。

仏 ここからが制約で、その指した方向に向かって4万歩行けば地獄門に行く事ができます。この方法以外で絶対に地獄門には行けない。

ゲンジ 4万歩…。

仏 これくらいはしないと、もしもの時に対応できないから。

ゲンジ 誰かが地獄に行つてしまつてはいけませんしね。

仏 大変だとは思うけどさ、こういうのは本当に極稀だから。勘弁しておくんなまし。

ゲンジ お気になさらないください。仕方ない事なんですから。

仏 そう言つて貰えると助かるよ。この事は絶対に他の人に言っちゃ駄目だからね。

ゲンジ 分かりました。でもわざわざ地獄門を会場にしなくても良かったのでは？

仏 20人以上の鬼が天国を歩き回わる訳にもいかんでしょ？みんなびっくりしちゃうよ。

ゲンジ 役人の方というのは皆さん鬼なんですね。

仏 そうだよ。地獄なんだから当たり前でしょ。

ゲンジ 確かにそうでした。

仏 ずっと奥歯に何か詰まつたような表情してるけど気にしないであげて。そういう顔なんだ。

ゲンジ その点は大丈夫です。

仏 そ、ならいいや。では伝える事は以上です。

ゲンジ 1つ質問よろしいですか？

仏 何？

ゲンジ 先ほどの天国の風を流すというのはどういう事なのでしょう？

仏 あれね。まあ地獄に落ちた人間というのは死してなお、死の苦しみを与えられ続けるのよ。地獄で死んでは蘇生されー死んでは蘇生されーの繰り返しで。

ゲンジ どういう事でしょう？

仏 犯した罪によって処罰の方法は変わってくるんだけど、地獄では鬼からそりゃあもう凄い方法で罰を受けるんだよ。だからその罰を受けた相手は大体途中で事切れちゃうのね。でも地獄の死人が天国の風を浴びると、たちまちに生き返っておまけに傷とかもフル回復しちゃうわけ。で、そこからまた罰を受けてって感じ。

ゲンジ なるほど。

仏 その為に地獄門は存在するんだよ。

ゲンジ 救済すらも罰に利用するとは地獄とは恐ろしい所ですね。

仏 恐ろしい所でしょう。

ゲンジ いろいろと教えて頂き、ありがとうございました。

仏 うむ。

ゲンジ ああ後これはお誘いなのですが、先程までサモン君とラップの練習をしまして。

仏 ああ、B班と合同の出し物の。

ゲンジ もしよろしければ1度ご覧になりませんか？

仏
いいの？

ゲンジ
はい。正直に申しますと大変恐縮なのですが、練習の成果を仏様に見て頂きたいのです。

仏
全然オツケー。ゲンジ君がラップするんでしょう？すげえ興味ある。見る。

ゲンジ
ありがとうございます。

仏
ええ？だつて全く想像できない…え？何マジで？すげえ楽しみ。

ゲンジ
そこまで言つて頂けるとは光栄です。では参りましょう。

仏
あ、ちよつと先行つて。すぐ行くから。

ゲンジ
分かりました。

ゲンジはける。仏、資料を台の上に置いてはける。カンダ、ナナセ入ってくる。

カンダ
やつと行き方が分かつたな。

ナナセ
地獄つて本当に怖い所なんですな。

カンダ
何だ止めとくか？

ナナセ
いえ、行きます！

カンダ ならいいけどよ。後はどうやってベイルリを手に入れるかだ。

ナナセ ゲンジさんはずっと首にかけてますからね。

カンダ まあ俺はそういうの馴れてるからな。2人いりゃあ楽勝だ。

ナナセ 馴れてる？

カンダ ああ、その…生きてる時によ、スリやだましでござかい稼いだんだよ。

ナナセ そんな事してたんですか？

カンダ まあな。

ナナセ 何で天国に来られたんですか？

カンダ 来たくて来たわけじゃねえ。言つたろ？俺はここが嫌いだって。

ナナセ はあ。

カンダ 知りたきゃ仏に聞け。

ナナセ 別に詮索するつもりはないですから…。

ナナセ資料に気づき、手に取る。

カンダ 何だ？それ。

ナナセ 進行表に備品リスト…餅つき大会の書類みたいですね。

カンダ こいつ使つて段取り考えるぞ。

ナナセ え？はい。

2人はける。

㊦ センタースポット。仏入ってくる。台詞の途中でサモン、ゲンジ入ってくる。

仏 やつてきました第6地区恒例、餅つき大会。老いも若きも男も女も、仏も他の地区の皆様も全てを巻き込む酒池肉林の宴。この世の別れ、あの世の別れ、別れにやいろいろあるけれど、別れが次の出会いとは、天が授けた縁結び。今宵は飲もうよ、餅食つて。ペッタン、ペッタン餅つく音が、羯帝羯帝波羅羯帝ついに彼岸に辿り着くう！

サモン いやっ！仏様！

仏 ありがとうございます。どうもありがとうございます。

ゲンジ 素晴らしいスピーチでした。

仏 　　でしよう？今日はね、皆無礼講だから多いに楽しんでくださいな。

サモン 　（客席に向かつて）では皆さん、餅つきは特設ブースにて行いますので移動をお願いします。持ってきて頂いたもち米は、ブースに箱がありますのでその中に入れてください。

カンダ、袋を持って入ってくる。

サモン 　何処に行ってたんですか？

カンダ 　何処でもいいだろ。

サモン 　そうですね。あなたの勝手ですもんね。

仏 　　何だお前、ちゃんともち米持ってきたのか？

カンダ 　お前等が持って来いつつたんだろ。

仏 　　つきり持って来ないと思ってただけだな。カンダ君偉いでちゅねえ。

カンダ 　ほっとけよ。

仏 　　仏だけにな。

カンダ 　おもんな。

ナナセ入ってくる。

ナナセ 遅れてすみません。

サモン いいえ！別に！

ゲンジ サモン君、せつかくの楽しい日なんだから。

サモン …はい。

ゲンジ ナナセ君は初めての参加だから細かい業務は私達にまかせて。カンダさんもゆっくりしててください。

ナナセ ありがとうございます。

仏 他の班長には何かあったらゲンジ君に伝えるよう言っているから。

ゲンジ 分かりました。

仏 カンダ。

カンダ あ？

仏 面倒は起こすなよ。私は仏仲間と飲んでくるからな。

カンダ さっさと行ってこいよクソ仏。

仏 じゃあ後お願い。

仏はける。

カンダ 仏仲間って何だよ。

ゲンジ サモン君は先にブースに行つて進行をしてもらえるかな？
サモン はい。

サモンはける。

カンダ ほら。

カンダ、ナナセに袋を渡す。その中を確認するナナセ。そしてゲンジのバイルリを見る。

ゲンジ ナナセ君はお餅好き？

ナナセ え？あ、はい。

ゲンジ 良かった。今日はたくさん食べてね。

ナナセ ええ…ぼつ、僕、飲み物取つてきます。

ナナセはける。

ゲンジ ナナセ君とは仲がいいんですね。

カンダ お前らと違ってこの空気のにぼせてねえからな。

ゲンジ 安心しましたよ。気が許せる相手がいるというのは如何なる時でも救いですからね。

カンダ お前みたいな救いようがない腑抜けにとつてもか？

ゲンジ ええ、そうです。

カンダ 救いようがない奴の救いつて何だ？お互いに慰め合うつて事か？アホらしい。

ゲンジ そういう見方もありますね。

カンダ 俺の事舐めてんのか？それとも不感症か？

ゲンジ 舐めてなどいません。ですが気分を害してしまったのであれば謝ります。

カンダ もういいわ。相変わらずつまんねえ人間だな。

ゲンジ どういう事でしよう？

カンダ ここまで言われて、まだくだらねえ芝居すんのか？

ゲンジ 芝居…。

サモン入ってくる。

サモン ゲンジさん。

ゲンジ どうしたの？

サモン 杵が1本足りません。

ゲンジ 特設ブースの角に置いてたはずだけど。

サモン それがないんですよ。

ゲンジ おかしいな。

サモン 誰も触つてないはずなんですけど。

ゲンジ 私が出し忘れたのかな。

サモン 予備とかありますか？

ゲンジ あるよ。備品は全て倉庫で管理してる。

サモン ありがとうございます。

ゲンジ 一応、杵がいくつあるか見てきてくれるかな？ブースにあるのも含めて、全部で8本あるはずだから。

サモン 分かりました。

サモンはける。

ゲンジ 先程の話ですが…。

カンダ もういいよ。

ゲンジ でも今後の為にも…。

カンダ お前と話したくねえんだよ。

ゲンジ そうですか。

ナナセ入ってくる。

ナナセ お待たせしました。ゲンジさん？

ゲンジ ああ、いや。

カンダ そんなの放つとけ。

ナナセ はあ。

カンダ それよりも…。

ナナセ あ、はい。飲み物です。

カンダ おう、お前の分は？

ナナセ ああ、忘れちゃいました。

カンダ 何やってんだよ、ったく。

ゲンジ カンダさんはお餅を何個食べますか？

カンダ は？

ゲンジ つきたてを私が持ってきます。ナナセ君の分も持ってくるよ。

カンダ 誰も頼んでねえだろ。

ゲンジ 今年はもち米の質が良くて、きつと美味しいお餅になります。食べないと損ですよ？

カンダ こんだけ俺が態度に出してんのによく毎回絡んでくるよな？

ゲンジ それは前にも言いましたが、私はC班の班長ですから。

カンダ こちらの都合はおかまいなしか？

ゲンジ 都合と言いますと？

カンダ 俺はお前が嫌いだ。

ゲンジ そうですか…迷惑だと言うのであればなるべく控えるようにはします。ですが私は誰一人欠ける事なく、皆と楽しく過ごしていきたいのです。どうかご理解願えませんか？

カンダ 無理だな。仲良しこよしはお前等で勝手にやつてろ。

ゲンジ 残念です。

カンダ 残念そうな顔じゃねえな。馬鹿にしてんのか？

ゲンジ いいえ。

カンダ 馬鹿にしてんだろうが！

カンダ、ゲンジに掴みかかる。

ナナセ 何してるんですか！止めてください。

ナナセ、止めに入ったドサクサに紛れてベイルリを掴む。それを見計らってカンドは矛先をナナセに変え、突き飛ばす。ナナセ、ベイルリをしまう。

カンド　ふざけやがつて。

ゲンジ　そんなつもりはなかったのですが、気分を害してしまつてすみませんでした。

ナナセ　大丈夫ですか？

ゲンジ　ああ。

ナナセ　今のはカンドさんが悪いですよ。

カンド　……。

ナナセ　カンドさんも謝つてください。

カンド　知るか。

ゲンジ　あれ？

ナナセ　…どうかしました？

ゲンジ　ベイルリがない。

ナナセ え…本当ですか？

ゲンジ おかしいな。

ナナセ 何処かに落としたんですか？

ゲンジ さっきまで首にかけてたと思うんだけど…。

ナナセ 服の何処かに入っているとか…。

ゲンジ いや、入ってない。

ナナセ 何処にいったんだろう？

ゲンジ もしかすると、さっきので落としたのかな。

ナナセ ここには落ちてないですね…別の所なんじゃないですか？

ゲンジ まさかとは思うんだけど、揉み合った時に誤ってどちらかの服の中に入ったのかも…確認してもいいかな？

カンダ 何だ？疑ってんのか？

ゲンジ そういう訳ではありません。念の為です。

カ・ナ ……。

ゲンジ よろしいですか？

ナナセ ええ…もちろん。

サモン入ってくる。

サモン ゲンジさん、杵見つかりました。8本揃ってましたよ…どうかしました？

ゲンジ いや、ちよつとね。全部揃ってて良かった。

サモン はい。それとゲンジさん、これ倉庫に落としてましたよ。

サモン、ベイルリを渡す。

ゲンジ え？

サモン 杵のすぐ横に置いてありました。

ゲンジ 本当に？

サモン はい。

ゲンジ そうか……ごめんね。ありがとう。

サモン いえ。でも大事な物なんですから気をつけてくださいね。

ゲンジ 申し訳ない。でもどうして？

サモン 準備でバタバタしてましたからね。その時にいつの間にか落としたんじゃないですか？

ゲンジ ああ……2人共ご迷惑をおかけしてすいませんでした。私がつっかりしていたみたいです。

ナナセ いやいや、見つかって良かったです。

サモン そろそろ餅つきを始めたのでブースに来て貰えますか？

ゲンジ 分かった。では2人も一緒に。

ナナセ ちょっと用があるので、終わったらすぐに行きます。

ゲンジ そう。じゃあ待つてるから。

ナナセ はい。

MG9 ゲンジ、サモンはける。ナナセ、盗んだペイルリを出す。

カンダ 上手くいったな。

ナナセ めちゃくちゃ緊張しました。

カンダ 言ったろ？手品みたいなんだった。注意さえ逸らせば盗られた瞬間は気付かないもんだよ。

ナナセ でもいざ実行するとなると…。

カンダ いや、お前センスあるよ。

ナナセ こんなので褒められても嬉しくありません。

カンダ そりゃそうだな。

ナナセ ゲンジさんの記憶がちゃんとしてたら即アウトだったんですよ？

カンダ 大事な物でも意識から消えてれば、どうだったかなんて記憶は曖昧になんだよ。

ナナセ 結果そうなたただけでしょ？サモンさんがもし偽のベイルリを見つけなかったらという事もあるし、運に頼り過ぎです。

カンダ お前も納得した上だろ？

ナナセ カンダさんがゴリ押ししたんじゃないですか。

カンダ 成功したんだからいいじゃねえか。

ナナセ 杵を隠す時も誰かに見られてるんじゃないかって…まだ手が震えてる。

カンダ ほら飲め。

カンダ、ナナセに飲み物のビンを渡す。

ナナセ いただきます。

カンダ (ベイルリに向かって) 地獄門。こっちか…行くぞ。

ナナセ はい。

カンダはける。ナナセ、ビンの中身をいつきに飲み干す。

ナナセ トウドベンー！

ナナセはける。ゲンジ、サモン入ってくる。

ゲンジ カンダさん…ナナセ君？

サモン 何処に行つたんですかね。

ゲンジ 私達のラップ対決を見てほしかったのに。

サモン どうせまた何処かへほつき歩いてんでしょう？

ゲンジ そうかなあ。

サモン いいじゃないですか。2人は2人で楽しんでるんですよ。

ゲンジ でも…。

サモン ほら、もう始まつちやいますよ。

ゲンジ うん…仕方が無いか。

MI0 仏(本編とは別の)、カンダ、ナナセが入ってくる。仏が2人道中の様子をお題として2人に出す。(断崖を登る2人の、湖を泳ぐ2人、植物に巻きつかれる2人、クイズなど)。そのお題に対してカンダとナナセがアクトなどとして答える。仏はける。

カンダ こんないろいろあるなんて聞いてねえぞ。

ナナセ ゲンジさんも定例会の時に通るんですよ。

カンダ だろうな。

ナナセ 大丈夫ですか？

カンダ おう。

ナナセ 少し休みましょう。

カンダ 何言つてんだ。もうバレてて、誰かがこっちに向かってくるかもしれないぞ。

ナナセ そうですけど…。

カンダ 俺は大丈夫だ。お前は嫁さんの事だけ気にしてる。

ナナセ キョウカの事も大事ですけど、カンダさんの事も大事です。

カンダ 大丈夫だつて言つてんだろ。

ナナセ 大丈夫じゃないですよ。

カンダ 俺の事はいいんだよ。

ナナセ よくないです。

カンダ お前マジで面倒臭えな。

ナナセ 面倒臭いつて何ですか。

カンダ 本気で嫁さんに会いてえと思つてんのか？

ナナセ 思つてます。でもそれがカンドさんに無理をさせる理由にはなりません。

カンド 俺がいつ無理してるって言ったよ？

ナナセ どう見ても無理してます。

カンド 俺の事をお前が勝手に決めんな。

ナナセ でも…。

カンド 早く先に行くぞ。

ナナセ じゃあ僕が休みたいです。

カンド はあ？じゃあつて何だよ？

ナナセ 僕疲れました。休みます。

カンド 遊びじゃねえんだぞ。おちよくつてんのか？

ナナセ いいえ。

カンド お前な…もういいわ。休めばいいんだろ？

ナナセ ……。

カンド お前もやっぱり良い奴なんだな。

ナナセ え？

カンダ あ、まあその…。

ナナセ 何ですか？いきなり。

カンダ 思った事言ったらワリイのかよ。

ナナセ 悪くはないですけど。

カンダ 自分でも柄にもねえ事言っちゃまったなって思ってるよ。

ナナセ はあ。

カンダ ああもう何だよクソ。

ナナセ 僕が悪かったです。あの、何でそう思ったんですか？

カンダ 自分で聞いて恥ずかしくないか？

ナナセ 僕がどうというより、カンダさんが誰かを褒めるのって珍しいから。

カンダ 俺を何だと思ってるんだ？

ナナセ すいません、つい。

カンダ まあなんつーか自分の事とやかく言われても我慢してんのに、他人が絡んでくると食ってかかるっつーか。

ナナセ そうですか？

カンダ おう。

ナナセ 自分では考えた事もなかったの。

カンダ まあ…そういうもんなんだろうな。

ナナセ たぶん父親に似たんだと思います。

カンダ 父親？

ナナセ 僕の父は自分よりも他人の事を考える人間でした。自分で言うのも何ですけど、もし僕が他人の事を優先して考える人間だというなら、きっと父に似たんでしょう。

カンダ そうか。

ナナセ 僕は父を尊敬しているので、何だか嬉しいですね。

カンダ ……。

ナナセ どうかしました？

カンダ どうもしねえよ。

ナナセ もしかして怒ってます？

カンダ あ？

ナナセ ただそう感じただけなんで…。

カンダ 別に怒ってねえよ。

ナナセ ならいいんですけど…でもカンダさんだって良い人じゃないですか。僕の為にいろいろしてくれ…。

カンダ おいつ。

ナナセ はい。

カンダ 俺の事を「良い人」なんて言うな。

ナナセ え？だって。

カンダ まだ嫁さんに会ってないだろ。だったら何もしてねえのと一緒だ。

ナナセ そんな事ないですよ。

カンダ 生きてる時の話チョロつとしたろ。俺は本当なら地獄に落ちるはずの人間だったんだ。

ナナセ それと今とは関係ないじゃないですか。

カンダ 軽々しく「良い人」なんて言うなっつてんだよ。

ナナセ さっきから急に暗くなったり、不機嫌になったり何なんですか？

カンダ うるせえな！とにかくもう黙ってろ。

沈黙。

ナナセ トウドベンー！

カンダ いきなりデケエ声出すなよ！

ナナセ トウドベンー！

カンダ 意味分かんねえ…何だそれ。

ナナセ 嫌な空気を壊す、僕達夫婦の合言葉みたいなものです。

カンダ はあ？

ナナセ 最初はキョウカが言い出したんですけどね。

カンダ 嫁さん大丈夫か？

ナナセ たぶん…でも本当に何だか気持ち前向きになって楽しくなるんです。そうやってずっと2人でどんな時も乗り越えてきました。

カンダ ふうん。

ナナセ カンダさんも言ってみてください。

カンダ は？やだよ。

ナナセ 騙されたと思って。

カンダ 絶対言わねえ。

ナナセ (カンダをじつと見つめる。)

カンダ …トウドベン。

ナナセ もつと大きな声で!

カンダ トウドベン!!

ナナセ ね?

カンダ ね?じゃねえよ。

ナナセ まあ僕達の間では喧嘩したり、お互いが悲しい気持ちになると二人でこの言葉を叫ぶんです。その後2人でゲラゲラ笑って、叫んでる時のキョウカの顔がまた笑えるんですよ。あの顔みたら更に気分が晴れて…今思えばキョウカかなりの気遣いだったんですね。

カンダ 何でお前が暗くなってるんだよ。

ナナセ すいません。

カンダ もう1回言っつけ。

ナナセ トウドベン!!!!

カンダ ほんと馬鹿っぽいな。

ナナセ 否定はできないですね。

カンダ よし、そろそろ行くか。

ナナセ もう大丈夫なんですか？

カンダ 馬鹿ありがたい言葉が聞けたからな。

ナナセ そうですか…なら良かった！

カンダ、ナナセはける。ゲンジ、サモン入ってくる。

サモン みんな楽しそうですね。

ゲンジ ああ。

サモン 今回も餅つき大会は大成功ですよ。

ゲンジ そうだね。本当に良かった。

仏入ってくる。

仏 ごきげんヨークシャーテリア。

ゲンジ どうも仏様、楽しんで頂けてますでしょうか？

仏 おかげ様で私だけでなく皆も楽しんでるよ。ありがとう。

サモン 仏様だつて備品の手配をして下さったじゃないですか。

ゲンジ こちらこそ本当にありがとうございます。

仏 うむ。2人はちゃんと楽しんでる？

ゲンジ もちろんです。

仏 よろしい。それにしても今年の餅はまた格別だね。もう餅の伸びがピロロロ〜ンってな感じで…ゲンジ君、それ…。

ゲンジ ベイルリが何か？

仏 偽物じゃね？

ゲンジ え？

仏 だつてオーラが感じられない。

サモン そんな。

仏 ちょっと貸してみ。

ゲンジ どうぞ。(渡す)

仏 あーやっぱり偽物だね。透かしが無いし。

サモン そんなお札みたいなのあるんですか？

仏 まあ嘘なんだけども。

サモン 何で嘘をつくんですか。

仏 とにかくこれは偽物。

ゲンジ 偽物なんて一体誰が？

サモン それよりも早く探さないと。

仏 大丈夫、大丈夫。ちよつとこれ見ても。

仏、鏡を取り出す。

サモン 鏡ですか？

仏 ただの鏡じゃない。ペイルリの事を思い浮かべながら覗いてみ。

仏、ゲンジに鏡を渡す。それをみるゲンジ。カンダとナナセ、舞台のつらを下手から上手へ横切る。

ゲンジ　なぜ2人が？

サモン　ベイルリを持ってますよ！

ゲンジ　やっぱりあの時…まさか、でもどうして…。

仏　あーこれヤバイやつだね。

サモン　ヤバイって何がですか？

仏　え？だって盗まれた訳だから。

サモン　そうですね…そもそも偽者を作るような手の込んだ事までしてベイルリを盗む理由は何なんでしょうか？

仏　何だろうか？

サモン　2人の様子を見る限り、ベイルリを頼りに何処かを目指しているようでしたけど。

仏　そう？

サモン　もしかして地獄に行こうとしているんじゃないですか？

仏　んな馬鹿なあ。

サモン　あまり気にはしていませんでしたが、最近2人で何かこそこそしているなあと思ってたんですよ。

仏　おう。

サモン　ナナセさんには動機があるし、カンダさんも地獄の話には興味を示していました。ベイルリは地獄の場所を指し

示しす道具なんじゃないですか？

仏　　今までで一番輝いてるね。名探偵みたい。

サモン　　どうなんですか？

仏　　当たってますん。

サモン　　どちらですか？目的が分からない事には追いかける様がないでしょう。

仏　　おっしゃる通りです、当たってる。

ゲンジ　　早く取り返さないと。

サモン　　僕も一緒に行きます。

ゲンジ　　いや、サモン君はここで待ってて。

サモン　　どうして？

ゲンジ　　これは私の責任だから。

サモン　　そんな事言ってる場合じゃないですよ。

仏　　いいよ一緒に行つて。

ゲンジ　　いいんですか？

仏　　ここまで分かっちゃったらもう同じだよ。それに止めるんだったら人数多い方がいいし。

ゲンジ 仏様がおつしやるなら。

サモン もう1つベイルリはありますか？

仏 あるけど普通に追いかけても間に合わないから牛車で先回りしましょ。

サモン 牛車つて…あの牛が引くやつですか？

仏 うん。仏のみ利用可能つて感じなんだけど、別に決まつてる事じゃないし乗せてあげる。

サモン いや、遅いんじゃないですか？

仏 そこの牛と一緒にするでねえーそりゃあもう滅茶苦茶早いんだから。私はその牛をナリタブライアンと呼んで
いる。

サモン 馬の名前じゃないですか。

仏 そろそろオルフェーブルに買い換えようかなつて。やつぱ三冠馬だよね。

サモン よく分かりませんが、牛車なんてあつたんですね。

仏 まさか私まで4万歩も歩かないといけないと思つたの？

サモン 4万歩？

仏 ああそつか…とにかく牛車。

サモン はい。

仏　　ではついて来なさい。

3人はける。

5 地獄門の前にて

ミイ　地獄門が現れる。カンダ、ナナセ入ってくる。

ナナセ　これが地獄門？

カンダ　たぶんな。

ナナセ　……。

カンダ　いよいよか。

ナナセ　はい。

カンダ　どうした？

ナナセ　いや、その…。

カンダ ビビッてんのか？

ナナセ 違うと言えば嘘になります。今までルールを破るなんて事はしませんでしたから。
カンダ 今更だな。

ナナセ カンダさんは何も思わないんですか？

カンダ 思うって何を？

ナナセ 僕が地獄に行く事によって下界の誰かが2人が死ぬ事になるんですよ。

カンダ まだ言ってるのか？

ナナセ もしまだ生きていたい思っていたら…やり残した事がたくさんあったとしたら？

カンダ んなもん知るか。俺達には関係ねえ。

ナナセ でも…。

カンダ シヤキツとしろ。ここまで来といてそんな気遣いするのはな、中途半端な卑怯者だ。

ナナセ ……。

カンダ 嫁さんの為だろ？自分の信念貫くんだったら悪者になる度胸を持て。

ナナセ はい。

カンダ トウドベン！

ナナセ …トウドベン！

カンダ どうだ？気合入ったか？

ナナセ ええ、ありがとうございます。

カンダ おう。

仏、ゲンジ、サモン入ってくる。

仏 結構乗り心地良かったでしょう？つていたあー！テメエらゴラアー！

サモン 2人共、何をしているのか分かってるんですか？

カンダ 当たり前だろバカタレが。

サモン 人の物を盗んで、ルールまで破っておきながらよくそんな口がきけますね！

カンダ 知るか！さつさとどけ。

サモン どく訳ないでしょう！

カンダ ならハッ倒されても仕方ないよな？

ゲンジ 2人共止めなさい。

カンダ 言われて止めるくらいなら最初からやってねえんだよ。

ゲンジ とりあえず話し合いましよう。

カンダ 何を話し合うつもりなんだ？

ゲンジ 暴力はいけません。

カンダ 答えになつてねえよ。とりあえず喋つてんじゃねえぞ。

仏 喚くなよ。猿か？お前は。

カンダ 上等だデメエ。

ナナセ 僕達は本気です。全てを分かった上で行動しています。キョウカに一言伝えれば、どんな罰でも受けますから。

仏 何も分かつてないよ。君が罰を受けなければいつて話じゃないんだから。

ナナセ 分かつてます！わがままだろうと何だろうと僕はキョウカに伝えなくちゃいけないんです。絶対に。

仏 何を伝えるの？

ナナセ 僕がキョウカを追い詰めたから、あいつは地獄に落ちたんです。だから一言、お前のせいじゃないって言ってあげた
いんです、

仏 伝えてどうにかなる問題なの？

ナナセ え？

仏　それで奥さんは救われるの？

ナナセ　それは…。

カンダ　耳を貸すな。

仏　たかが言葉ですぐ気持ちが切り替わるような人間なんていやしないよ。

ナナセ　でも！

仏　でもへチマありません。そんな簡単な話じゃないってまだ分かんないの？

カンダ　黙れ！（ナナセに）あんな奴の言う事を真に受けんな。お前の気持ちは絶対に伝わる。今までのお前を見てきた

俺が保証する。

仏　誰も伝わらないなんて言っていないでしょう。

カンダ　あ？

仏　君の奥さんは本当に良い人だね。相手の気持ちを凄く理解してあげられるんだわ。

ナナセ　キョウカに会ったんですか？

仏　うん。今のナナセ君の事もちゃんと分かった。きっと今頃苦しんでるだろうって。

ナナセ　そんな事を…。

仏　だから彼女は自分がどんな状態であつても君に「ありがとう」って言うだろうな。

ナナセ 僕は別に自分が救われたい訳じゃ…。

仏 それもちゃんと彼女は分かっていたよ。だからこそ自分の為に必死なってくれた相手の気持ちに彼女は答えようとする。そういう人間だったろ？

ナナセ ……。

仏 それって、ただ相手を気遣ってるだけで本当に救われたとは言わないんじゃないかなあ？

カンダ ゴチャゴチャ言ってるじゃねえぞ！そんなの全部妄想じゃねえか。

仏 因みにね、君が死んだ事はまだ彼女に言っていない。

ナナセ え？

仏 彼女はできる事なら、君に自分の事は気にせず前向きに生きてほしいと願ってる。そんな言葉が聞けたのも、彼女がやっと自分の犯した罪を懺悔し、償っていいこうと決心したからだ。もしそこで君が彼女に会う事によって、死んでしまった事実を知ったらどうなると思う？

ナナセ それは…。

仏 彼女はたぶんこう思うだろうな…「自分のせいでナナセ君を死なせてしまった」

カンダ 何でそうなるんだよ！

仏 自分が自殺した事によってナナセ君を追い詰めてしまった。事実事故を起こしたのも、彼女の事で思い詰めていた

からでしょ？

カンダ そうなのか？

ナナセ ……。

仏 やつと決心が着いた彼女をまた苦しめるの？

カンダ でも結局の所どうなるかなんて分かんねえだろ！

仏 そうだな。分かるのは彼女をよく知ってるナナセ君だけだ。

ナナセ ……。

カンダ おい何とか言えよ。

仏 奥さんは転生して人生をやり直したいそうだ。

沈黙。

ナナセ 会うのは止めます。

カンダ は？

ナナセ 僕はキョウカには会いません。

カンダ 嘘だろ？何の為にここまで来たんだよ？なあ？

ナナセ 僕はもうキョウカには会えません。

カンダ 何だよそれ…もう1回考え直せよ、なあ…おい答えろよ！

ナナセ もう無理なんです！

カンダ 何言い包められてんだよ！お前の気持ちはそんなもんだったのか？

サモン 往生際が悪いですよ。

カンダ 関係ねえ奴は黙つてろ！

ナナセ キョウカは！キョウカにとつての救いは…自分だけが救われる事じゃないんです。僕はキョウカの重荷にはなりたくない。

カンダ お前の必死な気持ちが重荷になる訳ねえだろ。

ナナセ それはただ、自分の気持ちを押し付けてるだけなんです。

カンダ 訳分かんねえよ…何でそんな事言うんだよ？

ゲンジ 私はナナセ君が言っている事も分かります。

カンダ (ナナセに)おい考え直せよ。

ゲンジ カンダさん。

カンダ 触んな！（ナナセに）もうすぐそこじゃねえか、な？

ゲンジ カンダさんの言う事も理解できませんが、ナナセ君にも事情があるんです。

カンダ お前には聞いてねえんだよ！

ゲンジ ナナセ君も必死に考えた上で出した結論なんですよ。

カンダ うるせえつつてんだろ！

ゲンジ 彼も今、奥さんの気持ちと自分の思いの中で葛藤して苦しんでいるんです。それでもなんとか折り合いをつけて結論を出したんですよ。それを理解してあげてください。

カンダ そのムカつく顔止めろ。

ゲンジ え？

カンダ 理解つて何だよ？よくそうやって「何でも分かっています」みたいな口が利けるな。

ゲンジ はい？

カンダ 他人の事を完全に理解なんかできる訳ねえだろ。そう思わせる事が優しさのつもりか？

ゲンジ 何を言っているんですか？

カンダ どんな時でもヘラヘラしてごまかして、本当は面倒な事から逃げてんだらうが。

ゲンジ 落ち着いてください。

カンダ 文句の1つでも言い返してみろよ。お前は何言われてもムカつかねえのか？好き勝手言われて悔しくねえのか？
ゲンジ 自分が悪く思われているのであれば、それは仕方の無い事ですから。

カンダ 「お前等ごときに何思われても痛くも痒くもない」って言いたいのか？器がデケエふりして、上から目線で見てるじゃねえぞ。

サモン ちよつとカンダさん、いい加減に…。

カンダ、サモンを突き飛ばす。

カンダ 殴られた痛みはな、殴られた事のある奴にしか分かんねえんだよ。殴られねえように逃げてきた奴に理解できて
たまるか。知ったかぶりして良い人ぶってんじゃねえぞ偽善者。

ゲンジ ……。

カンダ 何か言えよ偽善者。

ゲンジ ……。

カンダ おい聞いてんのか偽善者。

ゲンジ 私は偽善者なんかじゃない!!

カンダ よく自分でそんな事が言えるな？

ゲンジ こっちが下手に出てたら調子に乗りやがって！お前こそ私の何が分かるっていうんだ？底辺のチンピラが！

カンダ やつと人間らしくなった。それがお前の本性だ。自分の本心隠して、それに触れた瞬間にブチ切れるベタレ野郎
なんだよ、お前は。

ゲンジ ……。

仏 あのさ、人の事言える立場？

カンダ あ？

仏 話は変わるんだけどさ、お前、この空気も人間も嫌いなんだろう？

カンダ おう。

仏 全部が気に入らないっつーんなら、ずっと孤独に過ごせばよかったじゃん。

カンダ 過ごしてたら。

仏 いやいや、何だかんだ言っつてこいつらと話してたじゃんか。

カンダ それはこいつ等が嫌でも話しかけてきたんだろうが。

仏 ええ？ここには何の隔たりもないんだぜ？一人で何処へでも行けたんじゃないの？

カンダ 同じ班なんだから勝手な事はできねえだろ。

仏 何でそこは馬鹿正直に守るんだよ。そんなの無視すればいいじゃん。

カンダ それがここでのやり方なんだろう？従ってやってんじゃねえか！

仏 だからさ、ホントに嫌だったら無視すればいいじゃん。そうでなくても特別集まりがある時以外は、何処かに行つてればいいんだから。何で何もしなかったの？ねえ何で？

カンダ ……。

仏 結局お前は孤独を恐れてんだよ。ウザいウザいと言いながら、はっきりしない態度で厚かましくも人との繋がりを求めてんだな。卑しい奴だ。

カンダ 違う。

仏 そのくせ他人の本音を知るのが怖いから相手をすぐに威嚇とする。

カンダ 違うつつつてんだろ！

仏 ならさつさと消えちまえよ。結局何がしたいの？お前だつて本心を隠してんじゃん。地獄にだつて一人で行けばいいのにお友達誘つてよ、ここに来てからずっと何してたの？ナナセの為みたいな空気出してるけど本当は自分の為だつたんじゃないの？

カンダ ……。

仏 1人じゃイキがる事しか、なーんもできないくせにかまってちゃんをコジらせてんのな？うわあーきつしよー。

ナナセ 止めてください。

仏 自分は地獄に行くはずだったって不貞腐れて何をアピールしてんのか知らねえけどさ、その結果お前は皆にどうしてほしいの？えーと確か「良い人」って思われたくないんだっけ？

ナナセ もう止めてください。

仏 もっと喜べよ、せつかくボロクソに言っつてやってんだから…実は逆か？「僕は自分の立場をわきまえてる良い人です」って思われたいのか？

カンダ 俺は…。

仏 もう正直に言ったら？「周りは皆良い人ばかりで羨ましかった」って。卑屈になるのは勝手だけどな、みんなそこまですぐで暇じゃねえぞ？

カンダ ……。

仏 お前は叱られたいのか褒められたいのかどっちなんだよ！！

沈黙。

仏 なんて怒鳴っちゃったりなんかしてえ。

ナナセ カンダさん…。

仏 他に意見がある人は挙手…無い様なので、ヌメヌメ小僧とナナセ君を連行します。

仏、ゲンジとサモンを見る。

仏 ナナセ君、こいつ連れてって。

ナナセ ……。

仏 ほら早く。

ナナセ、カンダを連れてはけようとする。

仏 ああその前に。

仏、ベイルリをカンダの手から取り、サモンに渡す。

仏 えーつと…さ、さい。

サモン サモンです。

仏 ああ、頼んだぞ。

サモン …分かりました。

仏 はい出発進行！

カンダ、ナナセ、仏はける。

サモン ゲンジさん。

ゲンジ 私は偽善者なんかじゃない。

サモン はい。

ゲンジ みんなそう言って私を…。

サモン みんな？

ゲンジ 私は間違っているのか？

サモン え？

ゲンジ 間違ってるのか？ええ？間違っていないから天国にいるんだろう？なあ？どうなんだ？教えてくれ、なあ！

サモン 僕に聞かれても分かりません。

ゲンジ ……そうか。

サモン それはゲンジさんが決めてください。

ゲンジ ……。

サモン 何が正しいかなんて、そんなの有って無い様な物だと僕は思います。だから…ゲンジさんが決めてください。

サモン、ゲンジの手にベイルリを握らせ、ゲンジを見る。暗転。

6 拘留室にて

明転。カンダとサモン板付き。

ナナセ カンダさん。

カンダ 何だ？

ナナセ すいませんでした。

カンダ 何で謝るんだよ。

ナナセ それは…今まで協力してくれたのに、それを裏切ったので。

カンダ ああ。

ナナセ 僕が最後まで優柔不断だったから、こんな事に…。

カンダ 嫁さんを思って決めた事だろ。

ナナセ それは…。

カンダ だったらいいじゃねえか。

ナナセ すいません。

カンダ むしろ俺の方がお前を裏切ってた。

ナナセ カンダさんは裏切ってなんかかないです。

カンダ どつちつかずな気持ちで人助けなんてするもんじゃねえな。

ナナセ そんな事…本当にすいませんでした。

カンダ もう謝んな。惨めな気持ちになる。

沈黙。

ナナセ あの…ありがとうございます。

カンダ おいおい、今の流れで「ありがとうございます」はおかしいだろ。

ナナセ おかしいのは分かってます。

カンダ だったら何で言ったんだよ？

ナナセ カンダさんには本当に感謝しているから…。

カンダ 嘘だな。お前、俺を怒らそうとしてるだろ？

ナナセ え？

カンダ 短い付き合いだけど、お前の事は大体分かってるつもりだ。お前は他人の善意を裏切ったと感じておいて「ありがとう」なんて言う馬鹿じゃねえ。

ナナセ ……。

カンダ わざと俺を怒らせて、矛先を自分に向けようとしたんだろ？

ナナセ それは…。

カンダ 悪者になる度胸あったんだな。

ナナセ いや、その…。

カンダ ホントにお前は良い奴だよ。

ナナセ ……。

カンダ 俺の知り合いの話なんだけどよ、ちよつと聞いてくれるか？

ナナセ え？はい。

カンダ そいつん家は結構裕福だったらしくてよ、親父は出世欲が強くて、それで大手企業のお偉いさんにまで登りつめてたんだと。

ナナセ はあ。

カンダ それで調子に乗っちゃまって、会社の経費をチヨロまかしたり、いろいろヤラかしてたらしいんだわ。で、ある日それがバレて何年か務所暮らしするハメになった。当然会社はクビ。刑期が終わるまで家族みんなで親父を待つてただけど、帰つて来た時にはヤサグレちまって家の中で怒鳴るわ暴れるわで、もう手がつけられなかつたんだと。いつも泣いてるお袋を見て、そいつは絶対に親父みたいにはならないって決めたんだ。んで、そいつは高校中退してすぐに働き始めた。「親父は過去の栄光にすがつて全てをぶっ壊した。デカ過ぎる肩書きなんていらねえ…早々に自立して、家族を持って、みんな俺が守つてやる」つて…それが親父への復讐でもあり自分の幸せだつて思つてた…。

ナナセ カンダさん？

カンダ ちゃんと嫁さんも子供も出来てよ、最初は上手くいったんだよ！でも働いてた工場が潰れて全部変わっちゃった。別の仕事を探そうにも高校中退で30手前の人間ができる仕事なんて限られてる。でも家族の為に必死に仕事探して、力仕事でも、掛け持ちで深夜のバイトでも何でもしたよ…でもある日家に帰ったら、嫁さんと子供がいなくなってた…そこから悪い事続きた。仕事はリストラされるわ、バイトは身に覚えのねえ罪着せられてクビになるわ、新しいとこに面接行っても、ほぼ門前払い…全てがどうでもよくなっちゃった。それでクソみてえな先輩に目えつけられて、今じゃくだらねえチンピラだよ…そいつは一体何処で間違えたんだろうな？復讐ついでに幸せになろうとしたのが悪かったのか？だとしたら、もう少し親父に優しくしてやりゃあ良かったのかな。

ナナセ ……。

カンダ 嫁が出て行った時に手紙が置いてあつてよ、「相手の事しか考えないのは、相手の事を考えてないのと一緒だ」って書いてあった…今ならその言葉の意味が分かる。自分の為に無理してる人間見て、気分いい奴なんていねえよな。

ナナセ ……。

カンダ 仏の言う通りだよ…お前の為だと思つて行動してたけど、結局自分の事しか考えてねえつて事だったんだ。

ナナセ そんな事ありません。

カンダ きつと俺は心の何処かでごう思つてた。「誰かの願いを叶えてやれば、自分も幸せになれるかな」って…「自分も良い人間になれて、胸張つてられるかもしれない」って…ずっと自分の都合をお前に押し付けてたんだよ。

ナナセ 僕はカンダさんにいろいろ助けて貰いました。

カンダ もういいよ。俺は自分の事しか考えてねえただのゴミだ…今までも、これからも。

沈黙。

ナナセ トウドベンー！

MI2

カンダ またかよ…別に気い使わなくていいんだぞ。

ナナセ カンダさんは良い人です。

カンダ あ？

ナナセ 僕にとつてカンダさんは良い人です。

カンダ 冗談でも笑えねえぞ。

ナナセ 冗談なんかじゃありません。

カンダ 俺の話、聞いてたか？

ナナセ 聞いてました。

カンダ だったら何でそんな事が言えんだよ。

ナナセ 僕がそう思うからです。

カンダ アレか？また俺を怒らせようとしてんのか？

ナナセ 僕の本心です。

カンダ だから笑えねえよ。

ナナセ 笑わせてるつもりはありません。

カンダ もう止めろ。

ナナセ 止めません。

カンダ 止めろっつってんだろ。

ナナセ 嫌です。

カンダ いい加減にしろよ！俺は良い人でも何でもねえ！俺はどうしようもない馬鹿野郎なんだよ！

ナナセ それはあんたが決める事じゃないだろっ！

カンダ ……。

ナナセ 自分の事を良い人間だつて言うのがおかしい様に、自分の事を駄目だつて言うのもおかしいでしょー。そもそもカンダさんの事をどう思おうと僕の勝手じゃないですか。そこにケチつけないでください！…カンダさんは口は悪いけど、相手の気持ちを考えて優しくも厳しくもできる良い人です。そんな人が少しくらい自分の幸せを願ってもいいじゃないですか。

カンダ ……。

ナナセ ビビッてんじゃねえよ。

カンダ その場に膝を落とす。

カンダ うるせえよ…クソ。

Mが消えてから仏入ってくる。

仏 ういーす…あれ？尋常じゃない空気を感じる。

ナナセ 何しに来たんですか？

仏 何しに来たんですかつて君、処分を言い渡しに来たんでしょうよ。

ナナセ そうですか。

仏 え？私何か悪い事した？悪い事したのは君達だよ？

ナナセ 別に何も言っていないでしょ。

仏 うわ…敬語を使うカンダみたいだな。

ナナセ 早く教えてください。

仏 やる気失くすわあ…カンダ？

カンダ あ？

仏 私、処分を言い渡しに来たよ？

カンダ 聞いてたよ。

仏 そつか。じゃあ引つ張つてもしょうがないので処分を言い渡す…菩提樹の苗木が成長して朽ちるまでの間、2人を魂の状態で拘束する。

ナナセ どういう事ですか？

仏 ざっくり説明するとクッソ長い間、体が無くて身動き取れない状態で放つとかれるつて事。菩提樹の寿命が…そうだな、人間が老衰で死んだとして、間を置かず10回転生するくらいかな？まあこれくらいは仕方ないよね。

カ・ナ ……。

仏 私がこんな事言うのも何なんだけどき、奥さんの事はもう大丈夫？

ナナセ 心残りが無い訳じゃないですけど、でも…キョウカが今塞ぎこんでいないのではあれば、僕はそれで十分です。

仏 そつか。カンダはどうよ？何かない？

カンダ 覚悟の上だ。何も言う事はねえ。

仏 じゃあ刑を執行しちゃうね…ってそおーのーまーえーにい。

カンダ 何だよ。

仏 奥さんに会った時にさ、ナナセ君へのメッセージを預かってるんだよね。

ナナセ 何ですか？

仏 いいか？心して聞けよ？ううん、ごほっ…んん、あーあ、あー…ああああん、げふん…。

カンダ 早く言えよ。

仏 うむ…トウドベン…！

ナナセ ……。

仏 どうかした？

ナナセ いえ。

仏 奥さんに聞いたならこれで伝わるって言われたんだけど。

ナナセ 大丈夫です。

仏 そう。

ナナセ ありがとうございます。

仏 ちゃんと伝わったみたいね。

ナナセ はい。

仏 良かった。じゃあ行こうか。

M13 全員はける。暗転。エンディング。しばらくしてから明転。Mカットアウト。カンダと仏、板付き。

仏 ナナセ君が終わったら係りの人が来るから、その人の指示に従って。

カンダ おう。

仏 せつかく天国に来れたつーのに、何で地獄に行きたがるかねえ？ 全く。

カンダ その話はどういいたろ…地獄に行きたがるって俺がか？

仏 うん。

カンダ そんなこと俺がいつ言ったよ？

仏 えっ…その…この前。

カンダ この前っていつだよ？

仏 この前はこの前だよ。つーか現に行こうとしてたろうが。

カンダ それはナナセの嫁さんに会うためだろ？俺が地獄に行きたがってたっていう話とは別だ。

仏 えーつと…。

カンダ ンなことお前らに言った覚えはねえぞ。

仏 例え言っただけでも、お前見てりゃ分かるだろ。

カンダ 「この前言った」が「言っただけでも」に変わってんぞ。

仏 忘れているようなので、話を合わせてあげているのですう。

カンダ そういやお前、俺が「地獄に行くはずの人間だった」って言っただのを知ってたよな？俺はナナセにしかその話はしてねえし、その話したのは地獄門に向かう途中だ。なのに何でお前が知ってたんだ？

仏 それは…。

カンダ 俺らのごとずっと観察してたのか？

仏 んー何ていうか、その…。

カンダ　もしかして俺らが脱走するのも分かったのか？

仏　……。

カンダ　答えろよ！

仏　何？ごめん、聞いてなかった。

カンダ　あ？

仏　え？

カンダ　脱走するの知ってたのか？って。

仏　し、知らないよ。

カンダ　お前嘘つくの下手だなあ。

仏　だって立场上、嘘とかつき慣れてないもん。仕方ないつしよ。

カンダ　はい今嘘って認めたあ！

仏　あ、くそお……ジーザス・クライスト！

カンダ　それキリストだろうが。やっぱ分かってたんだな。

仏　まあ……全部分かってました。

カンダ　その上で好き勝手やらせてたのか。

仏 うん。

カンダ 何んだよ、俺ら滅茶苦茶ダセじゃねえか。

仏 そうだね、ダサイね。

カンダ うるせえな！でも…ありがとな。

沈黙。

仏 お前達が罰を受けるのは私が止めなかったのもあるし…そうだな、頃合見て菩提樹に枯葉剤でも撒いてやるよ。

カンダ おう。

仏 お前ホント毎日ウダウダやってたもんな。いつまでたっても何もしねえから、どうしようかなって思ってたんだよ。

カンダ ああそう。

仏 でもね、自分の言いたい事を効果的に伝えるには相手に実際に行動させるのが一番なんだよね。何ていうのかなあ？相手が本気じゃないと自分の本気も伝わらないみたいなの？そう、それ！だから私はお前等に本気になってほしかったんだよお。

カンダ おい仏。

仏 いやあアレだね、素晴らしいよね。私の教育方針が素晴らしかったからこそ、お前も私の考えにちゃんと気づいて感謝してくれた訳ですよ、うん。いやあ今日はとても気分がいいなあ。何かアクティブな気分。あ、どうする？罰を受ける前に一杯飲んでく？

カンダ ほとけえっ！！

仏 へあっ！

カンダ 黙ってる。

仏 …ごめん。

M14 暗転。カーテンコール。

終幕